



みのぶ



稲刈り作業 山ヶ鼻 英美さん（岩見沢市北村中小屋、9月20日）

■発行日/平成28年10月1日/No.1374号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

玄米ばら集出荷調製施設で 新米搬入始まる

農協管内の稻刈り作業は早い方で9月14日頃から始まり、玄米ばら集出荷調製施設は前年より1日早い9月18日から受入を始めました。

施設の搬入一番乗りは、光珠内

北の佐々木儀一さんで、「ゆめぴりか」2427kgを搬入しました。佐々木さんは本年産米の搬入一番乗りを記念して森川組合長から記念品が贈呈されました。

玄米ばら集出荷調製施設
(臨) 0126-62-1833

J A 営農販売課
0126-67-2334



記念品を受け取る佐々木儀一さん



雑草取りを終えて

小林篤一翁顕彰公園の 雑草取り行う

9月14日、JA役員OBで構成

する協栄会（三枝法廣会長）が小林篤一翁顕彰公園の雑草取りを行いました。公園の雑草取りは6月

14日に続いて本年2回目となりま

す。午前8時から協栄会の皆さん7名と伊藤専務理事、安達常務理事、職員2人の他、応援の美助つ人俱楽部（代表 前川 隆）の皆さん4人が集まり総勢15人で雑草取りを始めて30分ほどで作業を終えました。

武田 毅さん (69歳) 9月10日

美唄市光珠内町拓北

高川 妙子さん (92歳) 9月15日 岩見沢市岡山町182番地

「人道とは恩徳に

報いること

過去をかえりみれば、きつと恩を受けて返さなかつたことがある。また徳を受け報いなかつたことがあるに違いない。

報いることを思わない者は、必ず過去の恩を忘れて、目前の徳をむさぼり受けるものだ。だから、貧賤がその身を離れない。報いることを思う者は、必ず過去の恩を覚えていて、目前の徳を追い求めようとしている。だから富貴がその身を離れないのだ。なぜかといえば、恩を返し徳に報いるということは百行の元、万善の源だからである。

こうしてみれば、「人道」とは恩を返し徳に報いるということにつけた名前なのだ。どうして報いることに勤めないでよからうか。

(語録六四)

おくやみ申し上げます

10月の農協常会は休会します



美唄市農産物作況調査で訪れた高橋市長一行



熱心に稲を観察する峰延小学校児童

道々月形峰延線の中小屋地区改良工事に伴う用地買収で12号倉庫の一部が買収ラインにかかたため倉庫を取り壊すことになり、9月中旬に取り壊しました。

12号倉庫は昭和34年に、昔あつた中小屋農産物検査場所で検査される中小屋・上美唄地域の米を収容する倉庫として新築されました。築後57年を経過し当JAが現在所有する倉庫の中では一番古く、平成5年の当JA農産物検査場所統合、平成10年の中小屋支所の廃止後は利用が減っていました。

8月29日、美唄市の農作物作況調査が行われ、農協、農業委員会、市議会の代表者らと高橋美唄市長以下経済部の担当者一行が美唄市内の玉ねぎ、水稻、大豆の圃場5カ所と美唄市農業試験圃を視察しました。視察には安達常務理事、地元の小川俊美農業委員会会长が参加しました。

当JAの視察圃場は峰樺2区の且見隆さんの水稻圃場で、営農販売課の奥山職員と農業経営課の横田職員が対応しました。

8月29日、峰延小学校の5年生8人が5月26日に自分たちの手で植えた稲の生育の観察で拓北の沼田さんの圃場を訪れました。

児童は畦にしゃがみ込み定規で稲の長さを測り、観察カードに稲の絵と感想を書き添えていました。

児童は植えた時に長さ20cmほど

の苗が80cmに、植えた1株が太くなり30本ほどに増え成長していることに驚いていました。

児童は、田んぼに水がないのはなぜ、穂に付いているモミの数はどうくらい等と沼田さんに質問していました。沼田さんは質問に答えるために用水の取入口や圃場を移動し田んぼの水の落し口等を説明し田んぼの水量を調整できることを説明していました。

最後に、沼田さんが「もう直ぐ稻刈りなので、また一緒にやりましょう」と述べていました。

中小屋12号倉庫を取り壊す



12号倉庫を取り壊す(9月14日)

◇ 税務署から資産税に関する個別相談のご案内 ◇

資産税(譲渡所得、相続税、贈与税)に関する相談で関係書類や事実関係など、具体的な内容を確認する必要がある「個別相談」は、事前に電話で相談日時を予約する「事前予約」をお願いします。本年10月から12月の相談日は、次のとおりです。

【個別相談日程】

平成28年10月13日(木)	平成28年10月27日(木)
平成28年11月10日(木)	平成28年11月24日(木)
平成28年12月8日(木)	平成28年12月22日(木)

【予約方法】

○個別相談の予約

岩見沢税務署(☎0126-22-0810) 音声案内「2」

○一般相談

電話相談センター(☎0126-22-0810) 音声案内「1」

岩見沢税務署(代表☎ 0126-22-0810)

**美唄市農作物作況調査で
視察に来る**

影響や水稻の生育状況の問い合わせに対して、JA担当者は大雨の大きな被害がない、水稻は各品種とも概ね順調と答えています。

-教育-

小学生が植えた 稲の生育を観察

視察一行からの、先日の大雨の影響で、水稻の生育状況の問い合わせに対して、JA担当者は大雨の大きな被害がない、水稻は各品種とも概ね順調と答えています。

の苗が80cmに、植えた1株が太くなり30本ほどに増え成長していることに驚いていました。

児童は、田んぼに水がないのはなぜ、穂に付いているモミの数は

どれくらい等と沼田さんに質問していました。

沼田さんは質問に答えるために用水の取入口や圃場を

移動し田んぼの水の落し口等を説明し田んぼの水量を調整できるこ

とを説明していました。

最後に、沼田さんが「もう直ぐ稻刈りなので、また一緒にやりましょう」と述べていました。

**J Aみねのぶ祭
(第26回農産物消費者交流会)
開催する**

8月28日(日)、毎年恒例のJAみねのぶ祭(農産物消費者交流会)が峰樺3区にある農産物検査場所で開催されました。この交流会はJAみねのぶをPRし生産者と消費者との交流の場にしようと開催を続け今年が26回目になります。

来場者はバスカツプ狩りに訪れた消費者の皆さんに開催案内を郵送した他、JA組合員の皆さんにはファックスで周知し多くの方々が訪れていました。

森川組合長は開会挨拶の中で、本日の来場と峰延を愛して下さるお礼を述べ、「天気予報が頻繁に変



開会の挨拶を述べる森川組合長



新鮮野菜等の即売は大盛況

り心配したが、幸いに晴天となり大勢の方にお越しいただきました。趣向を凝らしたイベントを用意しているので来場者全員の方に最後まで楽しんでいただきたい」と述べました。



峰延手打ちそば愛好会の皆さん

先着500名限定のとりめしと手打ちそばの試食コーナーでは長い列にならないように番号を区切つて渡していましたが、裏方の女性部と峰延手打ちそば愛好会の皆さんは早朝から汗だくで仕込みに追われていました。

スケジュールに沿つて工夫を凝ら

ムの各店舗が午前10時5分に一斉にオープンしました。来場した皆さんは最初に地場農産物を買おうと各店に殺到し、その後はゆつくりと焼鳥やたこ焼き、唐揚げ、ビール等を楽しんでいました。

この日は快晴で気温が高く絶好のイベント日和で、特に生ビールやソフトクリームが飛びように売れています。

朝取り野菜生産者の会、こだわり南瓜生産者の会、峰延バスカツプ生産組合、菜宝箱、峰延手打ちそば愛好会、プチBOX、きままな主婦の会、ヤコットの皆さんが販売する地場農産物や加工品、手作りパンや雑貨の他、JA青年部の唐揚げ、ポップラ会のフランクフルトソーセージ、女性部のとりめし、綿菓子、JA生活店舗の飲み物コーナー、美唄やきとり「福よし」、かどやの米粉を使つたたこ焼き、ソフトクリー

小学生以下の子供を対象にしたジャガイモ、枝豆はなくなってしまいました。

近隣のJA青年部対抗綱引き大会の予選が始まると会場の皆さんは迫力のある熱戦に見入っていました。参加チームは青年部チーム



「かぼちゃころがし」でストライク!



「スーパーボールすくい」子どもたちに人気

が、いわみざわ、そらち南、びばい、みねのぶの4チームに当JA職員チームが加わり全5チーム、優勝決定戦はJAいわみざわと当JAが戦い見事優勝したのが当JA青年部チームで賞金が手渡されました。続いて行われた大声自慢選手権では、子供の部と大人の部に分けて行われ、大声に自信のある皆さんのがエントリーしステージ上で大声を張り上げ、声の大きさは出場者横にデジタル表示されます。優勝とストレス発散を兼ねた方もいて大声を出す表情に会場は沸いていました。

毎年一番盛り上がる大bingo大会では、「ダイソンコードレス掃除機」「ソニープレイテーション4」を手に番号を聞き逃さないように耳に全神経を集中し、番号が発表される度にざわめきが起きています。続いて行われた抽選会も「温泉2名宿泊券」「自転車」等の豪華な景品が用意され、安達常務理事が引く当たり番号に期待が外れた落胆の声が繰り返していました。

J A組合員の皆さんも多く来場し、米収穫前の晩夏のひと時を過ごしていました。閉会は、伊藤専務理事が来場のお礼と来年もお待ちしていますと述べ、午後3時すぎに閉会しました。



青年部対抗綱引き大会(写真は当JA青年部)



野菜詰め放題は今年も一番人気



大声自慢選手権でストレス発散(恥ずかしい!)



閉会の挨拶を述べる伊藤専務理事



大bingo大会で豪華景品ゲット

**GPSガイドンス・
自動操舵装置の操作学習会開催**

最近、トラクターの農作業用GPS（全地球測位システム）ガイドンスシステムや自動操舵装置を搭載したトラクターが増えてきて、当JA管内にも搭載トラクターがあります。

9月6日、峰樺3区の多目的倉庫前で、峰延先進農業研究会（加藤禎行会長）が米の収穫作業が始まる繁忙期前にガイドンスの設定やバージョンアップ等の操作学習会を開催しました。

雨天でしたが、10名が搭載トラ



設定を指導する加藤禎行さん



設定後に自動操舵を試乗



稻束の縛り方が難しい

9月16日、JA青年部（伊藤隆史部長）が中心になり食育事業の一環として、峰延小学校と南美唄小学校の2校合同で、稻刈り・はさ掛け作業体験が行われました。

※「自動操舵装置」は、GPSガイドンスシステムにより示された走行経路に沿ってトラクターを自動でハンドリングする装置。

-食育-

**峰延小・南美唄小が
合同で稻刈り・はさ掛け
作業体験を行う**



稻を束ねる作業、ハサ掛け作業を指導しました。

青年部上島営農専門委員長が鎌の使い方を説明し、危険な鎌を使つて慣れない稻刈りをするので怪我をしないようにと繰り返し述べていました。

児童たちは緊張した面持ちで鎌を使つていました。稻束を作る作業はコツが必要なため、児童たちは青年部員や女性部員に繰り返し習っていました。

作業体験が終わって両校の代表が指導役の青年部・女性部の皆さんにお礼を述べ、感想では稻刈りは慣れると楽しかったが、稻束の縛り方が難しいと述べていました。



小林篤一翁の墓参を終えて

9月16日、札幌農漁業機関報徳社の一行17名が移動常会で、当JAの小林篤一翁顕彰公園の見学と三笠市峰延墓地にある小林篤一翁の墓参に訪れました。

札幌農漁業機関報徳社は、毎月常会を開催していて、年に一度、常会会場を会議室から報徳並びに一般社会問題に関連した施設等を見学する移動常会を実施しています。今年の移動常会は、会員から多くの希望があつて当JAの小林篤一翁顕彰公園の見学、小林篤一翁の墓参となりました。

札幌農漁業機関報徳社一行小林篤一翁顕彰公園

見学・墓参に来訪

一行は、公園見学、墓参の後は当JA会議室で昼食を取りながら森川組合長ら常勤理事と懇談をしました。

札幌農漁業機関報徳社は、昭和24年10月に「財団法人北海道報徳社」が設立され北海道報徳運動の拠点が誕生、その後昭和26年に小林篤一氏・三井武光氏らが発起人となり笛々井信太郎先生を報徳講習会に迎え来道の際に関係団体・会社から参集し歓迎懇談会を開催し参加者の賛同を得て「札幌農業機関報徳社」を設立しました。当初は農業団体が主体であったが、昭和40年代頃から水産関係者の参加が見られるようになり、一層の強化を図る目的から「札幌農漁業機関報徳社」に改名しました。

II職員の退職II

藤崎 心
(監査室)

平成28年7月31日付け

報徳講演会開催

金次郎流、地域活性化の秘訣

～心田（道徳）と田畠（経済）の実りへ～

報徳講演会を次のとおり開催します。

組合員の方、地域にお住まいの方、多数ご出席くださいますようお待ちしています。



- ◆ とき 平成28年10月31日(月)午後4時～5時30分
- ◆ ところ JAみねのぶ三階大会議室
- ◆ 講 師 中桐 万里子さん
リレイト代表 国際二宮尊徳思想学会常務理事
- ◆ 内 容 金次郎流、地域活性化の秘訣

講師 中桐 万里子さんプロフィール

1974年東京都生まれ。二宮金次郎(尊徳)より七代目子孫。金次郎のふるさと小田原市で12年生活。慶應大学環境情報学部卒。京都大学大学院(教育学研究科)に進学、京都大学博士を取得。専門は臨床教育学。親子をつなぐ学びのスペース「リレイト」代表。関西学院大学講師を経て国際二宮尊徳思想学会常務理事、二宮金次郎基金名誉顧問ほか。

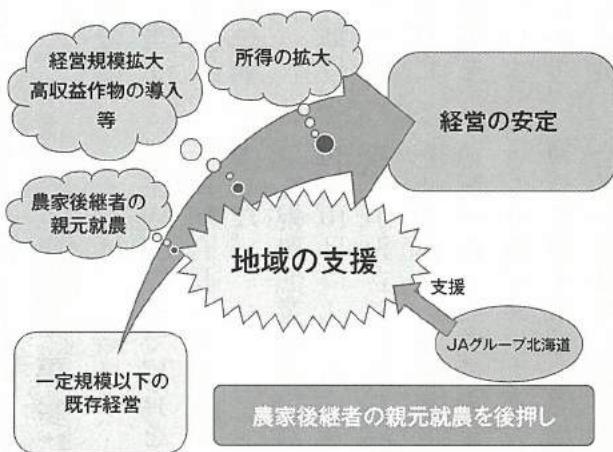


JAグループ通信

No.3

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
 JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、
 組合員の皆様に定期的にお伝えします。
 各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

J A グループ 北海道は、「地域から人を減らさない」強い認識のもと、担い手の確保・育成に向けてJA・連合会・中央会が一体となつたサポートとして、「担い手確保・育成支援事業」を今年度より実施いたします。本事業は農家後継者の確保、新たな人材の確保、および担い手農業者の経営課題の解決を図るために、4つのメニューを実施します。左記の図は「農家後継者親元就農支援事業」のイメージ図です。



JA北海道信連

9月に札幌ドームで「ハッピーママフェスタ」に参加しました。

北海道若手女性農業者集団「Links」から「食と農のトークショウ」と題して、農業や地元の食材の魅力を語っていただき、また、出展したブースでは「ちょりス・グッズ」や「新じやが」等を、延べ約1600名にプレゼントし、JAバンクのPRも実施しました。



2016年9月12日より、生産者の皆さまに向けて「LINE@」等を利用した情報発信サービスを開始しました。營農情報、スマート農業に関する情報、イベント情報、国内外のマーケット情報などをタイムリーに発信。週に1~2回程度の発信を予定しており、スマートフォン・PCからご登録いただけます。今後、各JAへ登録方法を明記したチラシを配布させていただきます。



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るために、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにバックナンバーを掲載しております。是非ご覧ください。



JA北海道厚生連



JA共済連北海道

認知度アップと、幅広い方々に「ひとり・いえ・くるま」の総合保障をご利用していただくため、9月1日から翌年2月15日までの期間限定で、LINEアプリ用「ひとのわぐま」スタンプ(全8種)を無料配信しています。人の輪(縊)を大切に考えていくJA共済の新キャラクターです。詳細につきましてはJA共済ホームページ又はJAの共済窓口でご確認ください。



▲ダウンロードはこちらから

